

みずほCustomer Desk Report 2018/09/27号(As of 2018/09/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.92
TKY 9:00AM	112.98	1.1763	132.89	GBP/USD	0.7249
SYD-NY High	113.14	1.1798	133.11	AUD/USD	0.7315
SYD-NY Low	112.64	1.1726	132.24		0.7241
NY 5:00 PM	112.73	1.1741	132.35		0.7257
NY DOW	26,385.28	▲ 106.93	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,990.37	▲ 17.10	日本10年債	0.1200	▲ 1.00bp
S&P	2,905.97	▲ 9.59	米国2年債	2.8168	▲ 2.43bp
日経平均	24033.7900	93.53bp	米国5年債	2.9436	▲ 3.87bp
TOPIX	1821.6700	▲ 0.77bp	米国10年債	3.0471	▲ 5.03bp
シカゴ日経先物	23,915.00	75.00	独10年債	0.5225	▲ 1.80bp
ロンドンFT	7,511.49	3.93	英10年債	1.5925	▲ 3.80bp
DAX	12,385.89	11.23	豪10年債	2.7435	▲ 0.70bp
ハンセン指数	27,816.87	317.48	USDJPY 1M Vol	6.18	▲ 0.23%
上海総合	2806.8133	25.67bp	USDJPY 3M Vol	6.98	▲ 0.18%
NY金	1,199.10	▲ 6.00	USDJPY 6M Vol	7.48	▲ 0.12%
WTI	71.57	▲ 0.71	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	193.97	▲ 1.15	EURJPY 3M Vol	8.44	▲ 0.19%
ドルインデックス	94.19	0.06	EURJPY 6M Vol	8.83	▲ 0.13%

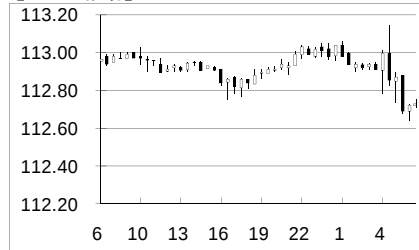
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月26日	23:00	米 新築住宅販売件数	8月 629K	630k
9月27日	03:00	米 FOMC 政策金利	- 2.00%-2.25%	2.00%-2.25%
		米 パウエルFRB議長「米金融政策はなお緩和的」		
		米 トランプ大統領「日本と非常に良い合意を得られると確信」		

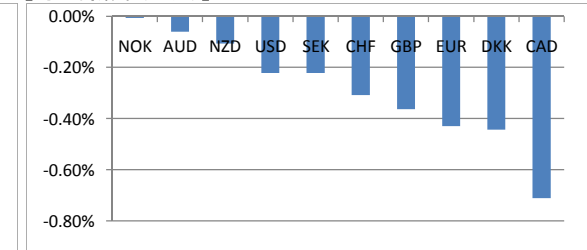
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月27日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	9月 -2.9	-2.9
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	9月 0.1%/2.0%	0.1%/2.0%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q 4.2%	4.2%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q 2.0%	2.0%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	8月 2.0%	-1.7%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器/前月比)・速報	8月 0.4%	0.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 210K	201K
9月28日	3:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	5:30	米 パウエルFRB議長講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.00	1.1700-1.1800	132.00-133.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル/円は下落。注目された9月FOMCでは、予想通り今年3回目となる0.25%の政策金利引き上げを実施。FOMCを受けて、一時ドル円は113.14まで上昇するも、その後、米10年債利回りが3.08%から3.04%台まで下落し112.63まで下落する展開となった。FOMCに向けて上昇してきた米金利とともにドル円も上昇してきたが、重要イベントを通過し、材料出尽くし感から一旦の調整相場が予想され、上値は重い展開となるだろう。

アジア	東京時間のドル円は112.98レベルでオープン。朝方には昨日の上抜けられなかった113円を瞬間的に抜けて113.03をつけたが、その後はドル売り優勢の展開。アジア株は堅調も、FOMCを控えて様子見ムードとなる中でドル円の上値は重く、112.83まで下落して同レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.83レベルでオープン。FOMCを控えた様子見基調の中、方向感なく推移。値幅は25銭程度と極めて限定的となり、112.99レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1766レベルでオープン。1.1775まで堅調に推移したものの、Hard Brexitを示唆するヘッドラインでユーロとポンドが売られる展開に。ユーロドルは1.1735まで低下し、1.1737レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は112.99レベルでNYオープン。NY朝方は様子眺めが続く中、株式市場が上昇する展開を受けた円売りに113.06まで戻す。その後はFOMC結果発表を目前に控え、113円手前での推移が続く。結果は、予想通り25bpの利上げが発表され、大半が年内あと一回、来年は3回の利上げを支持。政策について「緩和的」との文言が声明文から削除され、特段サプライズではなかったが、Fedは急いで利上げしないとの見方から米金利が低下し、ドル売りが強まると、ドル円は発表直後112.78まで下落。その後、パウエルFRB議長の記者会見では、「引き続き金融情勢は緩和的」で、「文言の削除はシグナルを変える訳ではない」と話したこと、ドルが買い戻されたことでドル円は今年7/19に付けた高値113.18に迫る高値113.14まで上昇。その後は、長期的に貿易政策に対して懸念しているとの見方を示したことなどから株式市場がマクナス圏へ下落する展開に円買いが優勢となり、112.64まで反落する。終盤に掛けては、狭いレンジでの推移が続く、112.73レベルでクロスした。一方、ハードブレクシットに対する警戒感からポンド、ユーロはやや軟調な動きとなり、ユーロドルは1.1737レベルでNYオープン。NY朝方は1.1726まで下落するものの、ユーロ円の上昇に下値をサポートされ1.1758まで戻す。NY午後は、FOMC結果を受けドル売りが強まり1.1798まで上昇するが、パウエル議長の記者会見が始まるとドル買戻しが強まり1.1731まで反落する。終盤に掛けては調整中心の動きが続き、1.1741レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 福田・田家